

劇遊び「そら組かいぞく 宝のカギをさがせ！」

作品展で海の世界で遊んだことや、絵本の読み聞かせから、再びわかば組を海の世界にして、今度は海賊ごっこが始まりました。好きな遊びの時間には、自分が海賊になるために必要な道具をつかったり、バンダナが赤と青に分かれているので敵同士になって戦ったり、やりたい子ども同士で船をつかったりと遊びが展開していきましました。



赤チームの船ができた！
たくさん乗れるように段ボールをつなげたよ！



赤チームの船に乗って出発！
望遠鏡で何か見えるぞ！



青チームも船をつくりたい！
協力してつくろう！



「船の運転の所をつくりたいねん」
「作品展の時つくったから、つくり方知ってる。教えてあげる」



ここは島だよ！
青チームと赤チームは宝の取り合いで戦ってるんだ！



嵐が来た！大変だ仲間が溺れてる！
ここにつかまって！



ごっこ遊びから劇遊びへ



劇遊びのねらい

- 役柄に合った表現や言葉を自分で考えて、体や言葉で表現することを楽しむ。
- 友達と思いや考えを伝え合い、共通の目的に向かって劇遊びを進めていくことを楽しむ。

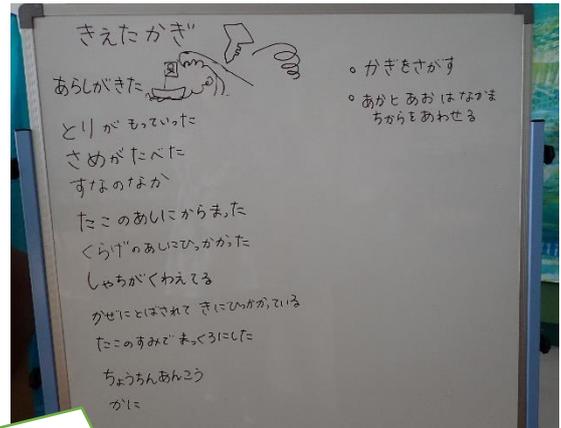
お話について

そら組には、赤チームかいぞくと青チームかいぞくがいます。宝を手に入れるために、戦いの練習をして過ごしています。また、赤チームと青チームが宝箱の取り合いになることもあります。ある日、大嵐が来て、宝のカギがどこかに行ってしまいました。赤チームと青チームは力を合わせてカギを探すことにしました。

宝のカギがないぞ！
どこにいったんだ？



岩の後ろにないか？



クラス全員で大嵐が来た場面で遊んだ後、本当にカギがなくなり、どこに行ってしまったのかを考えを出し合いました。

チーム活動開始！

チーム活動は..

クラス全員で考えを出し合った後、自分だったらその中のどの状況からカギを取り戻したいかを選びました。同じ状況を選んだ友達とチームになりカギがどうなっているのかを一枚の紙に一つのペンでかき、必要な道具をつくりました。次にどうやってカギを取り戻すのか方法を考えました。そして、チームの場面で役を交替しながらやってみました。決めたことは自分達で確かめられるように、教師が“ふせん”に書き留めておきました。また、他のチームの友達に見せ「面白かったよ」「もっとこうした方がいいよ」と意見を言い合うことでお互いのチームがよくなっていく姿がありました。

チーム活動とは

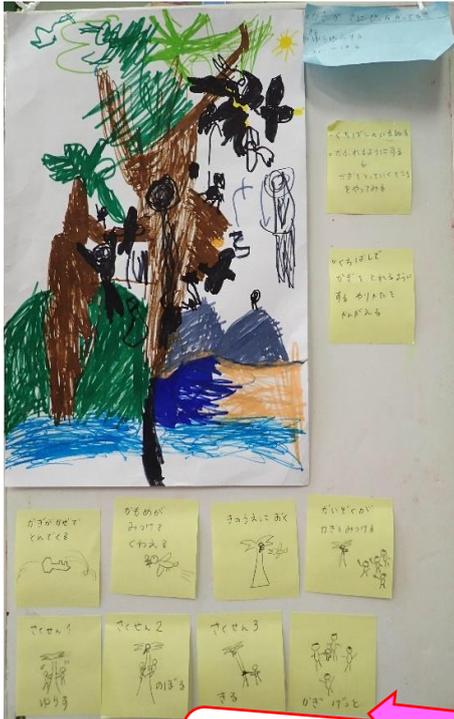
友達と同じ目的に向かってものごとを進めていく経験は、この先ずっと社会に出てからも大切な力です。作品展でのチーム活動や好きな遊びの中で友達と遊びのルール作りをしていることなどから、今のそら組の子ども達ならできると考えました。子ども達だけでは難しいところは教師も一緒に考えたり、子ども達の話をつないだりしながら進めていきました。

チーム活動での約束は

- 1、自分の考えを言うこと
- 2、友達の話をよく聞くこと
- 3、みんなが「いいよ」と了解してから進めること です

なかなか進まなかったり、言い合いになったり、やる気がなくなったりと困ったこともありましたが、諦めずに取り組む姿がたくさん見られました。

カモメがカギを見つけて木の上に置いた



自分達のかいた絵のような高い木をつくらうと、材料を選んでつくっています。



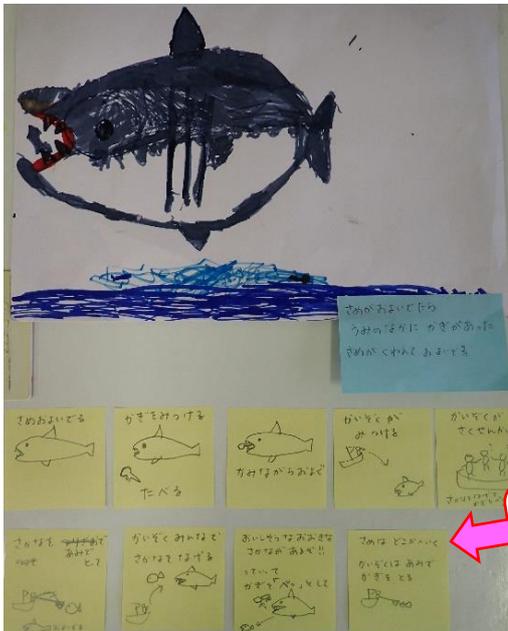
どんな作戦でカギをとろうかと相談中。友達の考えを聞いて「いいんじゃない?」「そうしよう」と思いを伝えています。色々なアイデアが出てきて、作戦が3つもあります。



決めた作戦を確認できるように、教師が付箋に書き留めています

「木は段ボールで作ってるから倒れないようにしながら登ってみないようにしよう!」演技の仕方を共通理解しています。

海の中でサメがカギをみつけてくわえて泳いでいる



大きなサメをつくりたくて、板段ボールをつなげていましたが、ビニールの幅より長くて入らないので、少しずつ段ボールカッターで切ってはビニールをかぶせること1時間!みんなで協力して大きなサメができました。

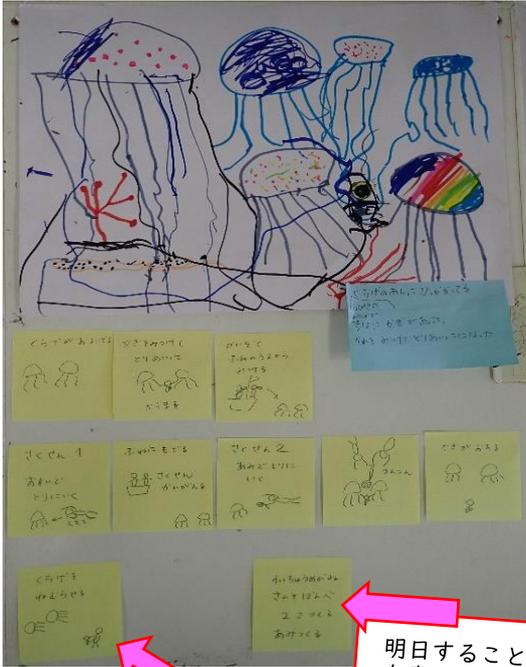
決めた作戦を確認できるように、教師が付箋に書き留めています

サメからどうやってカギを取り戻すのか、言いたいことがあるみんな。「聞いて!」「いいこと考えた!」「それは無理やろー」「まって、僕が話してるやろ!」と大きな声が聞こえてきます。話がそれても、「みんな!考えよ!」と言い出し、話し合うこと約1時間。教師がそばで見えていなくても自分達で進めていました。



「カギが海に浮かんでるみたいにしたいな」どうやったら浮かぶみたいか 試行錯誤中

海の中でクラゲがカギを見つけて取り合っているうちからまった



決めた作戦を確認できるように、教師が付箋に書き留めています

明日することも書き留めています



「クラゲの足はからまるから長い方がいいねん」と自分のクラゲをつくっていました。「いい感じだよ」と友達がつくっているのを見て声を掛けていました。

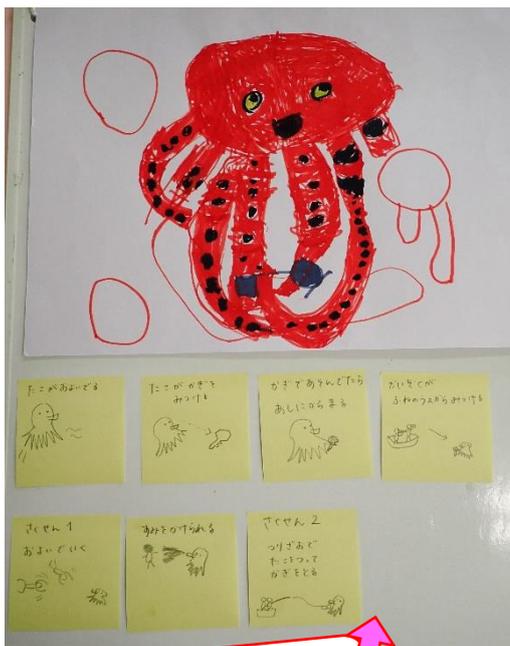
「『僕のだ』『僕のだ』って言いながら、カギをからませよう」と演出も自分達で決めています。そして、クラゲ役とかいぞく役を交代して何回もやっていました。



自分達の場面を他のチームのみんなに見てもらいました。よかったところ、もっとこうした方がいいところを聞きました。

真剣に友達チームを見ています。

海の中でタコがカギをみつけて遊んでいたら吸盤にくっついた



決めた作戦を確認できるように、教師が付箋に書き留めています

「ダンボール箱をかぶるのはどう？」具体的なアイデアが出てくると、「じゃあ、目開ける？」「段ボールカッターや」と考えを言い合う姿が見られました。



魚をエサにして釣ろうと決め、小さな魚をつくっています。「口ってどこやった？」みんなで頭を突き合わせて一つの魚をつくっています。

交替してやってみよう！
この後、タコに攻撃される方法も考え、うまくいか何度も試していました。



お話の最後

4つのチームは無事にカギを取り戻すことができたのでしょうか？お楽しみに！

(お話の構成上、カギを4つ取り戻せたのではなく、4つのストーリー展開となっています。)

セリフについて

決まったセリフはありません。特にチームの場面では、自分達の場面の流れに合った言葉をそれぞれが話します。子ども達は、演じているようで、場面の中で遊んでいるので、毎回違う言葉が出てきたり、同じ言葉でも違う人が言ったりしています。

仕事について

自分達の大道具を出し入れや全体の場面での道具の出し入れなどをします。

座席について

チームの座る場所は決まっています。お子さんに何のチームか聞いておいてください。遊戯室の真ん中に出て来て演技などをします。座っている時の様子も見てくださいね。

